

# 道路せいそう

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-17-4 日本ロードビル3階

TEL 03-6435-1664 FAX 03-6435-1665

e-mail [jimukyoku1@seisougijutsu.or.jp](mailto:jimukyoku1@seisougijutsu.or.jp)URL <http://www.seisougijutsu.or.jp/>

発行 一般社団法人日本道路清掃技術協会 (昭和41年設立 平成4年9月創刊)

## 第 53 回定時総会が開かれ、沓掛会長の講話がありました

平成 29 年 6 月 9 日に第 53 回定時総会が行われ、総会終了後に沓掛会長に講話をいただきました。いつもタイムリーなお話で、どんなお話をしていただけるかと楽しみにしていましたが、今回は、一点目として道路ストック効果の最大化、二点目として i-Construction、三点目はインフラの維持管理への新技術の導入、最後に道路清掃の資格制度のお話でした。

皆様今日は、日頃から道路交通の安全と利便性の向上に不可欠な道路清掃に携わりご精進頂いています事に心から感謝致します。道路に関する意識及び技術の革新が目覚ましく進んでおります。最初にこの事を説明しつつ、道路清掃の現状及び今後の課題について述べたいと思います。

### 1. 道路ストック効果の最大化

平成 26、27 年には道路ストック効果の最大化が当時の太田国土交通大臣の下で進められました。これは道路整備がある程度進んだ事と平成 24 年暮れの笹子トンネルの落盤事故が契機となり、道路の維持管理が重視され平成 25 年に道路法の改正を行い、道路管理者の義務規定として従来の維持に加えて点検を設けました。道路を点検し、診断する事が法定化されました。道路の点検、診断の前提として清掃が有る事は当然であります。

この点検、診断は一定の資格を有する民間技術者に実施して頂く事になりますが、その一定の資格は、民間の技術資格のうち、国が認定し登録したものとする制度が平成 27 年から発足致しております。道路清掃分野でも、現在当協会を中心に検討されておりますが早期実現を期待しております。

### 2. i-Construction

平成 28、29 年には、石井国土交通大臣の下、i-Construction が最重要政策として進められてきました。i-Construction とは建設産業における労働生産性の向上であります。その目的は、今後の少子高齢化時代における建設現場従業員の減少を防ぐ対策と、その従業員の処遇改善にあります。



i-Construction の実現は、道路等の社会資本の整備や維持管理に民間等で用いられている最新技術の活用を図る事により可能であります。

道路等のインフラの場合には、三次元画像と ICT 施行の技術が活用されています。

従来は、道路を造る場所の地形や道路の構造は実際は三次元であるものを二次元として取り扱われていたのを、地形及び道路構造を三次元画像とし、その合成したモデルを使って、ICT 重機により制御し、施工するのです。i-Construction は平成 28 年度には、道路は土工区間、河川は堤防で実施されましたが、平成 29 年度は、拡大して道路の舗装、砂防、港湾や河川での浚渫等に用いられています。

### 3. 維持管理への新技術の導入

河川では、平成 29 年度に「河川管理にレーザードロンを」テーマに、民間の技術開発を国が支援する態勢を取っています。

道路は供用延長が増え、交通量も増えますが、他方、老朽化は進んで来ますので、維持管理は益々重要になり、新技術の導入を検討する事になると思います。

#### 4. 道路清掃

昨年の暮れ、当協会が「道路清掃の基礎知識」を発刊されました。

清掃事業の専門知識や複雑な仕組みを解り易く整理した実務書で有ります。

是非、拳拳服膺して頂きたいと思います。そして、その成果を見える化するためにも、当協会で道路清掃士（仮称）の資格試験を実施し、且つその技術資格が国（国交省）に登録されるようにして頂きたいと思ひます。

更に、2020 年の Tokyo オリンピック、パラリンピックに向け、道路交通の安全と利便性の更なる向上の為、道路の清掃、点検、診断、維持管理の重要性が増してきますので、新技術の導入も踏まえつつ皆様方のご研鑽をお願いします。

特に道路清掃は、外人の道路の総合評価に大きく影響するものであり、同時に日本の印象にも係わるもので、2020 年の訪日客 4000 万人を達成する為にも尚一層、皆様方のご精励を頂くようお願いし、挨拶と致します。

一般社団法人 日本道路清掃技術協会会長  
（金沢工業大学客員教授・元国務大臣）

沓掛哲男

## 定時総会の開催にあたって

今年は、梅雨に入ってから雨が少なく、特に東京では半世紀ぶりの雨不足が心配されておりますが、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、道路清掃業務についてご苦勞、課題等がたくさんあるかと思ひますが、皆様のご協力を賜り、平成 28 年度の事業も計画通り執行できましたことを心よりお礼申し上げます。

2020 年東京オリンピック、パラリンピックの開催にあたって、ようやく国、組織委員会、東京都の足並みが揃って動き出したように感じます。

海外からの観光客は増加傾向にあり、国としても日本にある沢山の観光資源を活かして倍増を目指しています。日本経済の為にも、観光に力を入れ、海外から観光客を招致することは重要です。家でお客様を迎える時に玄関を掃除するように、海外からのお客様を迎えるにあたって、道路がきれいであるという事は大変重要なことです。私たちが海外に行ったときにも感じるのですが、道路が整備され、きれいに保たれていることはその国の経済力、文化度の現れです。日本は鉄道、道路などのインフラが老朽化して問題となっています。私たちが住む家屋と同様に道路、排水施設、橋梁なども老朽化すれば新設よりも清掃、維持管理にコストを掛けなければ、使用に耐え得る良好な状態を保つことは出来ません。

維持修繕はますます重要となっています。路面や排水管路が土砂で覆われた状態で点検や診断をしても判りません。道路清掃は、道路利用の安全性、快適性の確保と共に維持修繕の為の点検、診断をするために不可欠なものなのです。

道路構造の複雑化に伴い、清掃業務にも多種、多様な車両、機械を使うので、安全に質の高い施工をするには一定の技術水準が必要です。そのために道路清掃技術者資格制度の創設を目指して、講習会を昨年度、開催しました。今年度はこれを補完するための実技講習会を 7 月 20 日に国土交通省関東技術事務所の後援を頂き実施いたします。私たちの道路清掃はこのような制度を通して、将来にわたって道路を守る人を育成して行かなければなりません。少子高齢化の中、自動化を進める必要がありますが、清掃は現場ごとに設備、状態、土砂塵埃の質と量が異なり、そのため自動化が難しく人材の確保が必要となっています。しかし、大型車両運転免許保有者の減少は著しく、各会員会社で取得を後押ししなければ確保できない状態です。免許取得後、年数を掛けて経験を積み、どのような現場にも対応できる人材となって行きます。なお、大型車両と機械操作は災害緊急時に災害対策用車両を動かす重要な人材です。車両や機械があっても、それを動かせる人材がいなければ役に立ちません。人材の長期安定雇用の為に

は、どの業界、業種、職種でも同じように安定した売上高の維持が必要です。当協会として予算の確保をお願いしておりますが、「予算が無い！」という返答をここ数年、頻繁に貰います。無ければ確保する方策を打たなければ人材が消えて行くのは目の前に迫っています。

道路を守るために、引き続き協会を挙げて、実情を訴えて参りますので、皆様の引き続きのご協力をお願いして開会の挨拶とします。

一般社団法人 日本道路清掃技術協会理事長

亀田 丈 司

## 第 53 回定時総会が開催され諸議案が承認されました

去る平成 29 年 6 月 9 日午前 10 時 30 分より第 53 回定時総会が東京ドームホテルで開催されました。会場には会員各社の代表が集まり、亀田理事長の挨拶から始まりました。理事長からは、東京オリンピック以降、道路も整備されてきたがもう 50 年も経っている。少ない予算の中で維持修繕が益々必要になってくる。道路の安全性、快適性確保のために維持修繕の点検が進めら



れているが、点検において道路に土砂が堆積している場合は点検できない。点検と清掃はある意味一体のものであると言える。また道路構造も複雑化してきている。そういったことから清掃について一定の技術水準を確保するため、道路清掃技術資格制度を進めている。今後は、道路を守る人たちを育成していくことがとても重要であると考えている。少子高齢化の中で人材を確保し、特殊な機械を使うための技能をアップさせていくことが安全な施工にもつながる。そのためには、予算の確保をしなければならぬので、引き続き皆様のご協力をお願いしたいと挨拶がありました。その後、協会定款第 16 条に基づき亀田理事長が議長を務め議事が進められ、第 1 号議案として、事務局、企画・広報部会、技術部会、安全部会より平成 28 年度の事業報告、第 2 号議案として平成 28 年度の決算報告書、第 3 号議案として各部会の平成 29 年度の事業計画、第 4 号議案として平成 29 年度の収支予算書の審議が行われ承認可決されました。また、今年度は役員改選の年にあたり、第 5 号議案として役員選任の議案が出され、事務局一任の発声により事務局案が示されました。

今回は殆どの理事が再任されましたが、当協会の理事を 5 年間に亘って務めてこられました(株)ケイミックスの竹原功二氏に代わり後任には同じ(株)ケイミックスの佐藤秀来氏が就任いたしました。新体制は以下の通りです。よろしく申し上げます。

### 【H29 年度新体制】

理 事 長	亀田丈司	日本ロード・メンテナンス(株)
副理事長	川上智之	川上建設(株)
事務局長	中村 優	(一社)日本道路清掃技術協会
理 事	岡本史生	サンリツ工業(株)
	佐藤 博	道路技術サービス(株)
	佐藤秀来	(株)ケイミックス
	橋本義一	新日本ロード・メンテナンス(株)
	両角和嘉	日本ロード・メンテナンス(株)
監 事	小埜達夫	川上建設(株)

最後に杓掛会長による講話がありましたが、詳細につきましては最初のページに紹介しております。

## 国土交通省関東技術事務所で開催された「災害対策用機械の操作訓練」に当協会各社も参加しました

去る平成 29 年 6 月 29 日に国土交通省関東技術事務所において、災害復旧活動を円滑に支援するため、災害協定会社を対象とした「災害対策用機械の操作訓練」が開かれました。関東技術事務所では地震や洪水等の被災軽減および災害復旧活動を円滑に支援するための資材と災害対策用機械を保有しており、保有する災害対策用機械を緊急時に適切かつ確実に運用操作できるように協定会社の作業員を対象として操作訓練が実施されました。用意された災害対策用機械は対策本部車拡幅型、対策本部車(バス型)、待機支援車、照明車(2 柱式)、照明車(ブーム式)、排水ポンプ車(30m<sup>3</sup>/min)の 6 種類で、これらの機械はこれまでも被災地において第一に活躍してきた

ものばかりです。当日は協定会社 11 社 22 名(当協会員 3 社 9 名)が参加し、強い日差しの中、簡単な説明を受けた後、グループ別に分かれて関東技術事務所職員の指導を受けながら、操作訓練を行いました。参加した人の感想を聞くと、どれもあまり難しくなく操作が出来ました。ポンプ車は少し戸惑いましたが、何とかかなと思います。もし、要請があったら被災地に駆けつけて役に立ちたいと頼もしい返事が返ってきました。現在、九州北部豪雨の災害でも協会の数社が応援に行っており活躍しております。日ごろの訓練をしっかりやって、いざという時には確実な操作ができるようにしたいものです。

真っ先に現場に持ち込んで活躍する照明車



照明車 2 柱式



内水排除のための排水ポンプ車の展開



マッチ箱のように広がる対策本部車



## 九州北部豪雨災害における協会員の活躍

平成 29 年 7 月 5 日午後福岡県朝倉市付近で線状降水帯が発生し同じ場所で長時間猛烈な雨が降り続けました。福岡県朝倉市、うきは市、久留米市、東峰村、佐賀県鳥栖市、大分県日田市などで 1 時間に 100mm を超える雨量が観測され、特に、朝倉市付近では 3 時間で約 400mm、12 時間で約 900mm となるなど、その降水強度は激烈を極めました。朝倉市の山間部では局地的に 9 時間にわたり、気象観測史上でも最大級の集中豪雨となり、5 日 17 時 51 分、気象庁は「甚大な被害の危険が差し迫っている」として、福岡県の筑後地方と筑豊地方を中心とする地域に大雨特別警報を発表し、さらに 19 時 55 分には大分県のほぼ全域にも大雨特別警報を発表しました。国土交通省九州地方整備局では 7 月 5 日 16 時 50 分に災害対策本部が非常体制を発令しました。この大雨により各地で土砂崩れや河川の氾濫などの被害が発生したため、一刻も早い被災状況の把握と災害復旧対策の技術的支援を行うため、被災地に TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣するなどの対応を行いました。これに合わせて全国の地方整備局でも TEC-FORCE を九州に送り、被災地の状況を調査して被災自治体への技術的支援を行うとともに、様々な支援活動を行いました。当協会会員各社も国土交通省との災害支援の協定に基づき、散水車を被災地に輸送し、TEC-FORCE の指示により作業を行いました。道路に溜まった土砂は乾燥し、砂埃を舞い上げます。被災地の人々の環境を守るため、路面清掃車で清掃して、取りきれない土砂は圧力散水により、きれいに洗い流す作業を行いました。

出水で道路に流出し堆積した土砂



道路に流出した土砂を洗い流す散水車



堆積した土砂を清掃する路面清掃車と散水車



街の中まで入り込んで清掃する



写真提供：関東地方整備局

### 関東 TEC-FORCE 活動通信

平成 29 年九州北部豪雨の対応、  
No.22(平成 29 年 7 月 21 日(金))

■ 7 月 20 日 福岡 7 区朝倉市で被災状況等の調査を実施しました。



関東地方整備局の TEC-FORCE の報告

## 平成 29 年度道路清掃実技講習会が開催されました

道路清掃は、道路利用の安全性、快適性の確保とともに、道路の維持修繕のための点検診断を前提として不可欠のものであり、道路構造の複雑化に伴い清掃業務にも一定の技術水準が必要となってきます。

一般社団法人日本道路清掃技術協会では、道路清掃技術者資格制度を創設するための一環として、昨年(平成 28 年 12 月 2 日)技術講習会を開催いたしました。

今回はこれを補完するためのものとして運転実技講習会を実施しました。特に、路面清掃車は自動車としての走行機能と同時に作業機能も発揮させる複合機械として、運転と作業操作の調和・融合が必要なものとなっており、安全に取り扱うために行われた講習会で、その概要は以下の通りです。

○目的：道路清掃機械の構造と機能、点検調整、運転取扱い、安全対策等の習得並びに運転実技実習による運転技術の向上と安全で効率的な清掃作業を行うことを目指して実施しました。

○講習対象者：清掃作業担当主務者、現場代理人及び作業従事者（59 名）

○日時：平成 29 年 7 月 20 日(木)10：00～16：00

○会場：国土交通省関東地方整備局 関東技術事務所 建設技術展示館会議室・展示場

○講習内容：1. ブラシ式と真空式路面清掃車について

(安全対策、構造と機能、運転取扱い、各作業装置の点検・整備)

### 2. 運転・作業



理事長の講習会趣旨説明に始まり、稲垣地域道路調整官(北九州災害対応で道路情報管理官の代理)から九州災害に対する支援対応のお礼、維持管理(安全管理)と災害対応(富士山)の概要、地域に対して理解を得られることが大事等の挨拶、鈴木関東技術事務所長から九州災害対応の状況とお礼、展示館の紹介等がなされ講習に入りました。午前中は、路面清掃機械を製造している当協会の豊和工業(株)、榎加藤製作所の技術者を講師に迎え、路面清掃車の構造・機能や取扱いにあたっての注意事項などの講義が行われ、午後からは実際に実機を使用した運転・操作訓練が行われました。梅雨が明けたばかりの暑い中、参加者の皆さんは真剣な面持ちで技術向上に取り組まれていました。また、今回の講習会は、関東地方整備局の技術エキスパートの職員研修も並行して行われ、日頃目にしたことのない路面清掃車に実際に触れてみて、担当の技術者に色々と質問をしていました。また、午後からは、当協会担当者による道路清掃の現状や技術の変遷などの座学も行われ、受講者からの厳しい状況の話に耳を傾けていました。

今回の実技講習会は、関東技術事務所の後援を受けて開催することができたことに感謝するとともに、当協会としても国土交通省はじめ各自治体等の期待に沿えるようさらなる精進を図っていきたくと考えております。なお、受講生は、各社に戻りましても、是非、技術・知識の復習・伝承をしていただき、安全でより質の高い“道路清掃”が行われますよう取り組みをお願いいたします。

### 稲垣地域道路調整官



### 鈴木事務所長



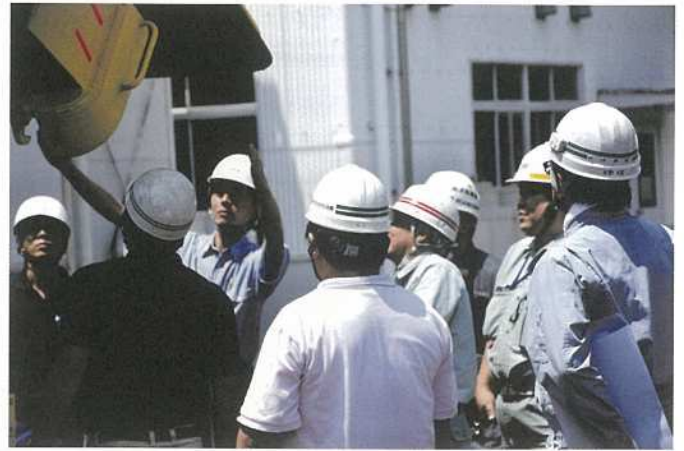
午前中実施した構造・機能に関する講習会の様子



午後の実機による実技講習会の様子  
四輪ブラシ式（リヤリフト）の運転操作講習



真空式路面清掃車の運転操作講習



国土交通省職員（技術エキスパート）研修





## 低騒音型側溝清掃車の機能・特徴 …兼松エンジニアリング株式会社…

低騒音型側溝清掃車 (LS…ローノイズスーパーモービル) は、従来の側溝清掃車 (SM…スーパーモービル) と同等の吸引能力を有しながら、騒音値を大幅に低減させた車両です。従来タイプに比べ 6~11db の騒音低減を実現しており、都市部や住宅街での作業、夜間作業で特に活躍しています。

### ■外観写真



### 【カートリッジフィルター】

従来のセパレーター (3 次キャッチャー、4 次キャッチャー) に加え、カートリッジフィルターを装着しています。回収物 (特に粉体等の比重の軽い物) のポンプへの侵入を防ぎ、保護します。

ほとんどの汚れはフィルターでキャッチできる為、従来よりも汚れた廃水が発生しません。

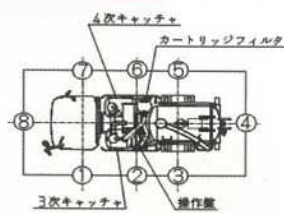
### ■主要諸元表

型式	LS-05BGP
シャーシ	日野:SDG-GC7JEAA-GKB (W.B.=3,420mm)
P T O	490N・m (50kgf・m)
吸引風量	40m <sup>3</sup> /min
吸引圧力	-97kPa (-730mmHg)

圧送圧力	0.07MPa (0.7kgf/cm <sup>2</sup> )
タンク容積	約 3.7m <sup>3</sup>
最大積載量	約 3,850kg
全長×全幅×全高	約 6,610×約 2,260×約 2,770 (mm)
定員	2 名

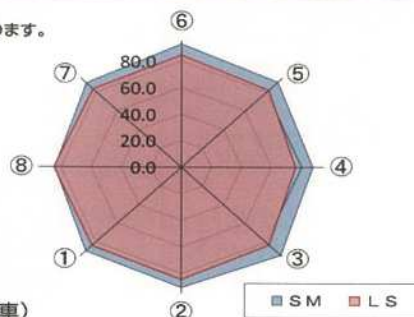
### 騒音値比較

※騒音値は諸条件により  
数値変動の可能性があります。



SM…スーパーモービル(4トン車)

LS…ローノイズスーパーモービル(5トン車)



単位: dB(A)

	SM	LS	低減値
①	89.7	83.8	5.9
②	90.8	84.6	6.2
③	93.9	82.8	11.1
④	87.6	76.2	11.4
⑤	90.7	82.2	8.5
⑥	92.8	84.6	8.2
⑦	89.5	83.3	6.2
⑧	84.1	84.8	-0.7

※3回測定した数値の平均値

## 産業用清掃機のご紹介

## 豊和工業株式会社

弊社では、ブラシ式路面清掃車・真空還流式路面清掃車等のトラックシャシへ架装された「路面清掃車」だけでなく、工場・公共施設・レジャー施設等の比較的小規模な範囲の清掃に使用される「産業用清掃機」も製造しております。

路面清掃車を製造開始した 1968 年から遡ること 4 年、1964 年に産業用清掃機の製造を開始し、現在では自走式歩行タイプの小型機種から小型特殊自動車として公道走行可能な搭乗タイプの大型機種まで全 9 機種をラインナップしており、その内 7 機種を弊社工場にて製造。国内唯一の国産メーカーとなっております。

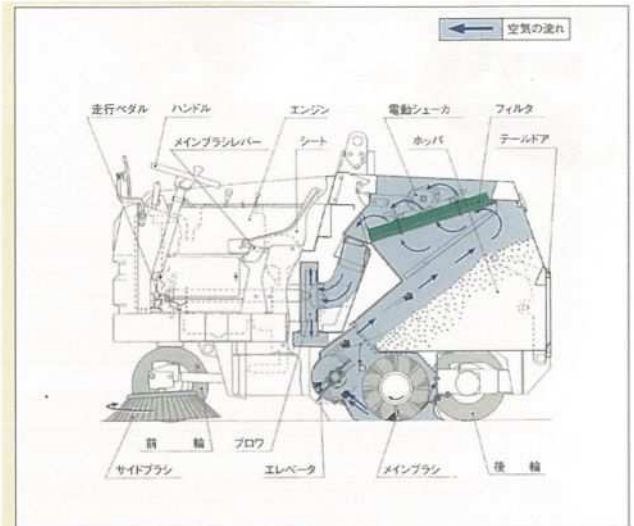
産業用清掃機は、路肩のゴミを掃き寄せるサイドブラシ・掃き寄せたゴミをホップへ掃き上げるメインブラシで構成されており、清掃作業中にメインブラシ部で発生する埃は吸引装置であるブロワで吸引され、パネル式のフィルタで濾過される仕組みです。路面清掃車とは違い、散水は行いません。

ラインナップ中最も大型の HF66 $\alpha$ H 形は、路面清掃車では入り込めない公道・歩道清掃用としてキャビン・クーラー等の特殊オプション取付仕様にて鹿児島地区で多数使用されています。

### <主要機種仕様>

	歩行タイプ <sup>o</sup>	搭乗タイプ <sup>o</sup>	
機種名	HF58 $\alpha$	HF64 $\alpha$ H	HF66 $\alpha$ H
全長 (mm)	1,340	1,820	2,380
全幅 (mm)	970	1,410	1,620
全高 (mm)	905	1,475	1,540
車両質量 (kg)	205	860	1,610
清掃幅 (mm)	910	1,260	1,445
清掃能力 (m <sup>2</sup> /h)	4,095	11,340	14,450
ホップ容量 (L)	70	240	590
ホップ排出方法	手動脱着	リヤハイタ <sup>o</sup> ン <sup>o</sup>	←
最小回転半径 (m)	その場旋回	1.2	2.3
原動機	ガソリン空冷	ガソリン空冷	ディーゼル水冷
フィルタ面積 (m <sup>2</sup> )	1.76	3.4	6.8
公道走行	不可	可	←

### <清掃機構図 (HF66 $\alpha$ H 形)>



### <外観写真>

HF58 $\alpha$  形



HF64 $\alpha$ H 形



HF66 $\alpha$ H 形



## 「道の駅」探訪記 Vol.1 : ららん藤岡



はじめまして！この度、企画・広報部会の新人編集員となりました M です。新人ですが体力だけ？は自信がありますので、どんな取材も任せてください!!これでも学生時代は野球をしていてピッチャーでしたから……体形はスラリとしていました……が、最近ではキャッチャーをしていたのかとよく間違われます。

さて、最近、休日になると奥さんや子供達と一緒にドライブに出かけます。そこで、よく立ち寄るのが「道の駅」になります。ドライブの休憩やトイレ休憩、小腹を満たせるようなちょっとしたものも用意されていますので、便利に使っています。特に地方の「道の駅」では、地元の特産品や新鮮な野菜など沢山あって、ついつい買い過ぎてしまいます。

そんな訳で、編集委員会から「道の駅」の探訪記を書くように命ぜられました。体育系なので文章はちょっと苦手なのですが、頑張って取材しますので、よろしくお願いします。

記念すべき最初の第 1 号は「道の駅ららん藤岡」に行き参りました。「道の駅ららん藤岡」は群馬県藤岡市にあり、国道 17 号線から南に約 1.5km、国道 254 号線から北に約 3.5km の所に位置し、上信越自動車道・藤岡インターチェンジと隣接しています。また、藤岡 PA (ハイウェイオアシス) と併設されているので、高速道路の利用者も施設の利用が可能になっています。「ららん藤岡」という親しみのある名称は、ららら〜♪と楽しく過ごせる所と藤岡市の特産ラン(シンビジウム)を合わせて名付けられたそうです。観覧車やメリーゴーラウンドもあり、まるで遊園地のような感じです。道の駅中心部には噴水があり、その脇には人工の川があります。これから暑くなりますので、休みの日に、子供たちを連れてきたら、きっと喜ぶと思います。



先日は、地域食材レストラン(ファミリーダイニングらん蘭)に立ち寄り、お昼を食べてきました。休日だったせいか昼時は満員で、暫く待ってからようやく席に着くことができました。注文したのは人気 No.1 というビーフシチューです。上州牛がトロトロに煮込まれてシチューに溶け込んでおり、スプーンでほぐして食べることができます。また、ほくほくの大きなジャガイモは、ビーフシチューに絡めて食べるととても美味しく 2 倍楽しんでいただくことができました。上州麦豚使用のカツカレーやトロトロ卵のオムライスもとても美味しそうでしたので、今度来たときは、それを食べたいなあと思いました。



ほかにも食事処やお買い物も野菜の直売所や群馬県産の上州牛・上州麦豚などを売っている肉の駅?などいろいろあるので、大人も楽しめます。また、ここには、個人的に大好きな「ガトーフェスタ ハラダ」の直売所があり、とても美味しいラスクを手に入れることができるので、時々立ち寄ります。以前はホワイトチョコがかかっているものや定番のガトラスクを好んで食べていましたが、最近ではカロリーを控えるためにオイルカットラスクやオードブルラスクに変わ

るようです。



りました。オードブルはワインのお供にもお薦めです。皆様もぜひ、「道の駅」に立ち寄り、休憩しながら美味しいものをいただいて、地域振興に貢献されてはいかがでしょうか。

そのほか、「道の駅」では、記念きっぷを販売しており、ついつい購入してしまいました。意外としっかりしていて切符のコレクターにはたまらない一品です。



これから、色々な「道の駅」を訪ねたいと思っていますの

で、こんな記念きっぷを集めたら面白いかも知れません？

さて、次は、どこの「道の駅」を訪ねようかなあ～取りあえず、自宅近くの道の駅を探してみようかな？と思いますので、乞うご期待ください。



このシンボルマークは「道の駅」のシンボルマークです。「道の駅」を訪れるドライバーのためにも、地域の方々にとっても、親しみやすい潤いある交流の場であって欲しいということから、全体を木と家をモチーフにして構成しています。左側には、駐車場と樹木 2 本を配置し、緑あふれる安らぎの空間をイメージしています。右側には、建物と人を表し、単なる駐車スペースではなく、案内、地域情報の発信等の機能を持っていることを意味しています。この人の形は、インフォメーションの i を形取っています。また、木と駐車場と道路が「道」のしんにようをイメージしたものとなっています。国土交通省によると「道の駅」は平成 5 年に創設された制度で、市町村等からの申請に基づいて、国土交通省道路局で登録されるもので、平成 29 年 4 月 21 日に 10 駅が新たに登録され、全国の「道の駅」は 1,117 駅となっています。

## 編集後記

○本誌は以前よりも内容が豊富で、発行部数も増えてきています。今後尚一層内容の充実を図っていくつもりですが、最近ではネタ不足になっておりますので、皆様からの寄稿等をお待ちしています。寄稿する記事は完成してなくても OK です。記事のメモや写真等から事務局でも手入れして記事にしていきます。

記事の内容は、工事（又は作業）・イベント・紀行文・写真その他ですが、「この内容では？」というのは相談させて戴きますのでよろしくお願い致します。

○夏から秋の体調管理。これから先、8月、9月、10月は、まだまだ暑い日が続きますので引き続き熱中症対策が必要です。そうこうしている内に秋になり、この時期は夏の疲れが残り、体調を崩すことがありますので注意して下さい。この時期の体調を維持し、秋・冬そして年度末を乗り切りましょう。

○九星浮世占い（雑誌上野 6 月号より）：私は誕生年から「四緑木星」になり、占いが当たっていることが多くありましたので紹介します。

①今までやってきたことに線をひき、これからの展開を考える。

②中心的立場になることが多くなるので自分の力量の範囲で動くこと。（ここは私に該当しない）

③無理なことは断る勇気が必要。

④車の運転は注意。（今年の運転免許更新時に「視野が狭くなっているの、車の運転は注意しなさい」と言われている）

●「道路について考えてみた……?! 第 2 回」は、今回、ページ編集の関係でお休みします。次回をお楽しみにしてください。